Market Letter 情報提供資料

# 日銀金融政策決定会合（2023年9月）

## 金融政策の現状維持を決定

2023年9月25日

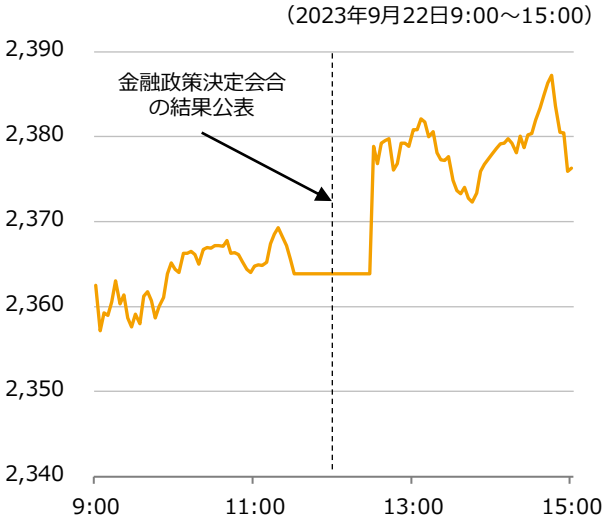
## 来年に金融政策が正常化に向かうとの思惑は一時後退も、早期に回復か

9月21～22日に日本銀行（以下、日銀）は金融政策決定会合を開催し、長短金利操作目標などの金融政策の現状維持を決定しました。今回の会合での政策修正は金融市場でほとんど予想されていなかったため、サプライズのない結果でした。金融政策の現状維持を受け、22日午後の金融市場では、株価は午前の下げ幅を縮小、国債利回りは小動き、為替は円安でした。

9月上旬に「（来春の賃上げが）十分だと思える情報やデータが年末までにそろうことも可能性としてはゼロでない」との植田総裁のインタビュー記事が報じられたことにより、22日は午後の総裁記者会見が特に注目されました。その記者会見において植田総裁は、「物価目標を持続的、安定的に到達する状況を見通せる状況にはない」と強調し、インタビュー記事により金融市場で高まった早期の金融政策正常化への思惑を否定しました。インタビューでの発言については、政策修正の可能性が全くないと言えば、今後の金融政策決定会合における議論を縛ることになるため、それを防ぐためであったと説明しました。

総裁発言を受け、金融政策正常化に対する思惑は一旦後退することが予想されます。しかし、次回の金融政策決定会合において政策委員の物価見通しが上方修正される可能性があることや、米ドル円の円安傾向が継続していること、来年度の賃金上昇に対する日銀の自信が徐々に強まっている可能性があること、などにより来年に金融政策が正常化されるとの市場の思惑は早期に盛り返すことが予想されます。

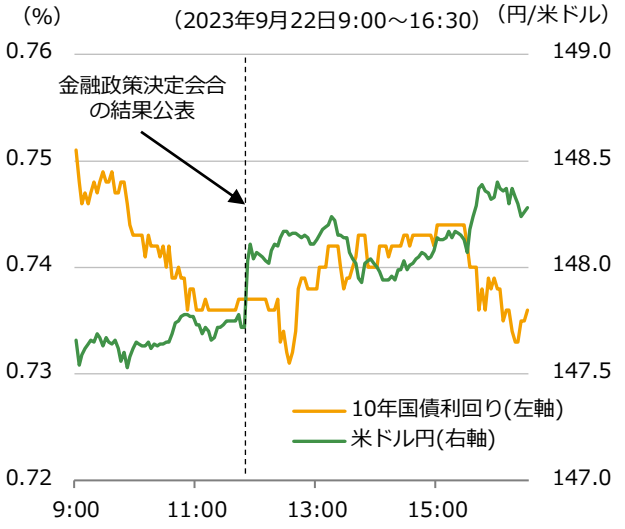
### 9月22日のTOPIXの動き




※3分足で値のない時刻は直前値を使用

（出所）ブルームバーグより大和アセット作成

### 9月22日の10年国債利回りと米ドル円の動き




※3分足で値のない時刻は直前値を使用

（出所）ブルームバーグより大和アセット作成


**当資料のお取扱いにおけるご注意**

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。